



学校運営協議会だより

市川市立第四中学校

第4号

令和7年2月7日

2月3日(月)に第4回学校運営協議会を開催しました。授業を見学した後、今年度の総括と次年度の運営方針案について協議しました。



□ 今年度の学校運営について

12月に実施した学校評価の結果等を参考に、今年度の学校運営について、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「信頼される学校」の4項目を5段階(5:十分達成できた～1:全くできなかった)で評価しました。

項目／評価平均	主な意見
確かな学力 3.9	<ul style="list-style-type: none">教室環境、授業のルールの共通化など学習の進め方の基礎がしっかりとしている。タブレットの利活用については、保護者にどう発信し理解を求めるかが今後の課題である。タブレットの利用状況や読書の調べ学習に関する評価が低く、さらに6月よりも下がってしまっているところが気になった。子どもたちがいろいろなことに興味を持って自分たちで学習する機会が少ないのでないか。本やタブレットの調べ学習での成果を見える化(文化祭など)で、生徒・親・地域が知ることも大切ではないか。タブレットの活用方法を今一度考えてみたらどうか。
豊かな心 4.2	<ul style="list-style-type: none">あいさつ運動で積極的にあいさつする生徒が増え、運動期間以外でも自宅の前を通る生徒に声掛けすると、ほとんどの生徒が自然にあいさつしてくれ、好感が持てた。月一度の人権チェックや「アウトメディア週間」等を行っており、良好な評価が見られた。全校集会パフォーマンスグランプリの実施など、個の持つ特性を認め合おうという取り組みが感じられる。学校はいろいろと体験活動を取り入れていることが評価できる。最近、校内であいさつをしてくれる生徒、あいさつを返してくれる生徒が減っている。
健やかな体 4.4	<ul style="list-style-type: none">登下校時、校長先生をはじめ先生方が校門や通学路で見守りをされ、安全性を感じた。「望ましい食習慣の定着」の評価が以前に比べ大幅に上昇しており、大きな改善が見受けられた。年間を通して健康安全教育への具体的な取り組みが伝わる。学校評価アンケートの7. 望ましい食習慣も高評価である。体育祭で生徒も教員も勇姿を見ることができた。保健室前のポスターも今の生徒にとって大切な情報である。
信頼される学校 4.3	<ul style="list-style-type: none">感染症の影響も少なくなり、地域のボランティア活動や地域学校協働本部の活動なども活発に回復しつつあり、学校としての取組がしっかりと構築できているように感じた。生徒が地域のボランティア活動に積極的に参加し、地域と学校の連携は持続していると感じる。地域交流も増え、コミュニティカレンダーで情報も共有できている。町会の大きな行事(夏祭りなど)にはボランティアが不可欠なので大変助かっている。「地域とともにある学校づくり交流会」では、子供たちのために地域とPTA、学校関係者が集まり、「地域の子供たちをどう見守るか」をテーマに交流するなど多くの方々が参加されていることが素晴らしい。オープンスクールや保護者会を行い、保護者への説明を積極的に行っていくように思う。

〈委員からの学校への意見〉

- 生徒懇談会や学校経営状況の報告を踏まえ、様々な課題が見えてきた1年だったように見受けられる。課題を持つ生徒以上に熱心な生徒が多くいることを踏まえて前向きな対応を検討したり、新たな指導の地盤を作るべく、昨年度とは異なった具体的な方策を立てたりして対応を進めていけるとよい。
- 1学期に比べてクラスが落ち着いているように感じる。すぐに効果が出なくても続けていってもらいたい。
- 学校が様々な課題を抱えた生徒たちの居場所であり続けることを願っている。
- 地域とのつながりをいつも大切にしてくださり感謝している。中学校は地域の将来の担い手を育成する場なので、これからも共に子供たちを育みたい。



委員の皆様、一年間ありがとうございました。